

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 沖縄に関する第三国の動向（その他）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43849">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43849</a>

Y  
車

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官  
務務 房  
次次  
臣官官審審長

総人計会領  
文電價旅  
国参資旅  
長調営  
ア参二東  
長総中西  
北参北  
中参南  
長中住  
歐参英  
長西英  
近参ア  
経次回米ア  
参調統ラ  
長一近  
経参経贈  
協政枝贈  
長国贈  
参参協  
長条規  
国参軍社專  
長政経科  
内参内  
長道外  
文文文  
長一一二

総人計会領  
文電價旅  
国参資旅  
長調営

ア参二東  
長総中西  
北参北

中参南  
長中住

歐参英  
長西英

近参ア  
経次回米ア  
参調統ラ  
長一近  
経参経贈  
協政枝贈  
長国贈  
参参協  
長条規  
国参軍社專  
長政経科  
内参内  
長道外  
文文文  
長一一二

近参ア  
経次回米ア  
参調統ラ  
長一近

経参経贈  
協政枝贈  
長国贈

参参協  
長条規

国参軍社專  
長政経科

内参内  
長道外

文文文  
長一一二

67年9月19日15時00分モスクワ 発 政 東  
67年9月19日22時21分本省 着

外務大臣殿 中川 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

イノキ教授とソ連学者の会談

第2031号 暗

当地訪問中のイノキ。正道 京大教授は、18日ソ連邦科学アカデミー国家と法研究所のユム。ユス。ストロゴーヴィチはかせ、イー。ペー。ウリヤス及びゲー。ユス。オストロウソフ両研究員と会談したところ、席上(通訳はイー。ユス。ユルシユノヴァ研究員が英語で担当)ストロゴーヴィチが「国際法上オキナワは日本に属するので近い将来にオキナワが日本に帰属することを希望する」と述べたのに対し、イノキ教授は「同じ観点より、ハボマイ、シニタン、クナシリ、エトロフ及び千島列島は日本に属すべきである」と述べたところ、研究所側出席者全員が「そうだ、そうだ(DA DA)」と同意を示した。また当日、当館で邦人記者団の要望により行われた同教授との記者会見の席上、同教授はこの問題に触れ、上記自らの発言中「千島列島」を省略して記者団に対して説明を行なった。

何等御参考まで。

(2)

特定 2P  
001初稿 1P > 2P

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外外官  
務務 房  
次次  
臣官官審審長

総人計会領  
文電厚給  
領参旅移  
長領領  
国参資  
長調析  
ア参二東  
長総中西  
北参北  
中参南  
長中住  
欧参英  
長西英  
近参ア  
経次回米ア  
参調統ラ  
長一近  
経参経贈  
協政枝贈  
長国贈  
参参協  
長条規  
国参軍社專  
長政経科  
内参内  
長道外  
文文文  
長一一二

総人計会領  
文電厚給  
領参旅移  
長領領

ア参二東  
長総中西  
北参北

中参南  
長中住

欧参英  
長西英

近参ア  
経次回米ア  
参調統ラ  
長一近  
経参経贈  
協政枝贈  
長国贈  
参参協  
長条規  
国参軍社專  
長政経科  
内参内  
長道外  
文文文  
長一一二

近参ア  
経次回米ア  
参調統ラ  
長一近

経参経贈  
協政枝贈  
長国贈

参参協  
長条規

国参軍社專  
長政経科

内参内  
長道外

文文文  
長一一二

68年7月16日18時45分モスクワ 発 北  
68年7月17日03時54分本省 着

外務大臣殿 中川 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題

第1540号 平

15日イヅヴェスチャは、バンドウーラ特派員の記事として、スナイダー米國務省日本課長は、日米間にオキナワ返かんの約束はなく、またもしオキナワ行政権が返かんされるとしても軍事基地の返かんは問題外であると述べたが、「日本人民はオキナワの米軍基地にも反対しているのがあつて、この点日本人民と米政府の見解は真向から対立している。日本政府筋はスナイダーの言明につき、自然なものであると評しているが、右は政府の立場をよく語っている」旨報じている。

(2)

ソカヒ 万博

大政事外外管  
務務 房  
次次  
巨官官密審長  
信信文会管給

人電厚計  
参閣行  
参領旅移

参北東經  
長 中西經  
参北保  
参一三  
参西東洋  
西京

近ア参近ア  
参次総経國万  
参賢統國  
参政技二  
國一週  
参条協規  
参政経科  
軍社専  
参道内外  
一二

注意  
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 21255  
69年 月 19日 19時 25分  
69年 月 20日 02時 12分  
ソ連 主管  
本省 発着  
米北1

外務大臣殿 中川 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題

第1497号 平  
18日ソラウダ、週聞国際論評(ソ、オブチニコフ)のオキナワ問題に関する部分要旨次の通り。  
ロジャース長官がワシントンから東南アに向け発つたその日に、東京ではA.S.P.A.C常任委が開かれた。またその3日前には南鮮政府機関紙は日本とマレーシアを除くA.S.P.A.C同盟国外相がバンコックでオキナワ問題を討議する旨発表した。右はロジャースの東南ア訪問が、同地域での勢力の配置換えとともに、米国が日本に与えんとほつする新たな役割に関連していることを証明している。米国は日本にアジアの憲兵としての役割の大きな部分を移そうと意図している。  
米国が<sup>は</sup>ベトナムでの冒險の共犯者が日本の参加なしにロジャースとキナワ問題について語るのは、オキナワの基地の将来がワシントンと東京のみならず、ソウル、台北、マニラ、サイゴンにも関係して~~い~~いう印象を作り出すことを目的としている。彼等の日本人の民族感情に訴えようというはずべき意図は明白である。その意図の本質は、ジャ

外務省

注意  
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

パン。タイムスが日本は北アジアの指導者としての役割を引受けるならオキナワ返かんを期待できる。」と明確に表現している。オキナワはアジアの交差点での足台になっている。この足台に立ちたかつたら制服を着て憲兵のぼうを持てというわけである。

外務省

極秘

注意 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。  
H19B 以下 沖比(有印) 1月

電信写

総番号(TA) 21420  
69年5月20日17時04分 連 管 政 策 1  
69年5月21日00時17分 本省 着

外務大臣 臨時代理大使 総領事 代理

ブラウダ編集部員の内話

第1502号 極秘

19日ブラウダ編集部アレクセエフ・アジア部次長を往訪したタナカより、最近の情勢にかんがみ、ブラウダ編集部ともアジア問題につきそつ直な意見の交換を行ないたい旨提案したところ、当方よりの質問に答えて同次長の述べたところ次の通りであった。

(途中よりペリヤエフ・アジア部長も同席)  
1. (今次NLF提案をどう評価するか) 自分はざん定連立政権という構想をNLFが出してきた点を一番評価している。かつてNLFは、自分だけが南越を代表する資格のある組織であると主張していた。今でもNLFが南越住民の大多数の意向を代表していることにはかわりがないが、ざん定連立政権の構想には広く国内の諸勢力及び海外に亡命中の人達をも懐くかつする考え方が盛られていて、その態度は弾力的になっている。(ということは、NLFは従来拒否してきた南越政府との話し合いに応じるとのことか) サイゴン政権は自分の手で総選挙をしようとしているので、これではNLFとの話し合いの余地がないであろう。

外務省

Vertical administrative stamp area with various official titles and departmental markings in Japanese.

極秘

注意 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(ニクソン大統領は国際機関が総選挙を監視するという提案を行なったが) ニクソン提案のこつ子となる点は、すでにNLF提案が出る前に殆んど準備されていたとみられるので、必ずしもNLF提案に直接的に答えているとはみられない。しかし、国際機関の役割とされているのは、あくまでも総選挙の監視であつて、総選挙を実施する主体は別に考えねばならず、米提案では明記されていないが、結局サイゴン政権ということになるのではないか。ただし、こうした点は今後の交渉を通じてぜん次明確化されなければならない問題点であろうから、今余り断定的なことを言うべきではないであろう。  
2. (かせん航行問題についてのソ側の交渉提案に中共側が応じたのをソ連紙が発表しないのは何故か) 中共問題は、自分の部でなく社会主義諸国部であつたので、詳細は知らないが、発表されないということは、交渉の場所、日時等についてまだ合意に達し得ないからだと思う。全てが明確になれば、当然発表されることになる。  
(西側紙では、カザフ地区でも中ソしようとなつが起つたとさわいでいるのを知っているか) 知っている。自分は今回の報道の真ぎの程については、詳細を承知していないが、あの地域は何分にも全てが余りはつきりしておらず、過去においては、中共側から多数の住民が越境してそのままそ

外務省

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

こに住みついてしまうというようなことが起つて、ソ側でも処置にきゆうしたことがあつた。

3. (マレーシアの暴動をどうみるか) 経済的に力をもつ中国人が政治的にも発言権を増すことを望んだことが原因の一つであろう。ただ中国人にもいろいろな階層があつて、全ての中国人が、経済的にゆふくということでもないであろう。ひん国に対する不満とか、あるいは中には、毛思想に影響されて過激な行動に出た分子もあつたかもしれない。いずれにしてもその動機は多様で、一律な解釈は困難であろう。

4. (ポドゴルヌイの北鮮訪問の際の発言ぶりをみると、米機のでい察飛行についての表現が領空侵犯と断言しているサイヨウケンとはびみょうなくい違いをみせているようだが。) 本件はもつと広い視野からみるべきであり、たまたまある時点で米機が北鮮領空内に入ったかどうかという問題より、米國が北鮮に対して絶えず緊張を高める政策をとつている点が問題であり、その結果は、どういう事態が起るか予見できないため危ぐの念をいだいているわけがある。

5. (オキナワ問題をどう思うか) 70年をひかえて、サトウ内閣としては、何とかここでオキナワ問題に一つの結着をつけなければ、70年の危嶽を乗り切ることができな

-3-

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

いということではないか。従つて日米間には何等かの解決策が見出されようが、米國が果してオキナワに核兵器を置くことをあきらめるかどうかが一審の問題であろう。米國としては、何等かの形でオキナワに核を積す方式を持ち出してくるのではないか。

6. (オキナワ問題がかた付いた場合には、日本固有の領土のうち残る懸案は北方領土だけになり、日本国民の注意も専らこの問題に向けられることが予想されるが、こうした事態をどう考えるか) 法律論をはじめるときりがないので、4つの島をめぐる法律論は別としても、日本国民が4つの島に対していだいている感情の実体は何か。真に民族的な感情より発する全國民的なものなのか、あるいは単に一部の者によつて反ソ感情をあおる道具として使われているのか。(日本国民であればだれでも4つの島は日本の不可分の一体をなす固有の領土と考えており、うわついた感情に動かされているものではない。) オキナワがどのような形で解決されるかわからない現状で、その後に来る事態を予測することは困難である。新しい事態の下では新しい観点に立つた検討が必要であろうが、領土をめぐる問題が日本国内の反ソ分子によつて日ソ関係を悪化させる目的で利用されることを懸念する。

7. なお途中より話に加わつたペリヤエフ部長は、現在の

-4-

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

中共をどう思うかと当方に質問した後「現在米中ソの三か  
く関係は相互に分裂した関係にあり。この中では米ソの関  
係が比かゝる話し易い関係にある。問題はこの三かゝる関係  
に対して日本がどういう動きを示すかということであり。  
もし日本が中共のまわりに固まってしまうのは破局的であ  
る。日本が対米、対ソ関係を正しく律することによつて中  
共を除外した日米ソの三かゝる関係を構成する方向に動けば  
。この三かゝる関係は相互に補強し合つて安定した関係を構  
成することとなる」と述べた。

(3)

外務省

ソカ  
ヒ

大政通外外信  
務務 房  
次次  
巨官官審審長  
係文会営給

参人電厚計  
参参  
参参  
参参  
参参

参北東経  
中西経  
参北北  
参一二  
参西東  
参西東

参参近ア  
参参経国万  
参参統国  
参参技二  
参参一理  
参参協規  
参参極科  
参参社専  
参参道内外  
参参一二

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 2,3738 主管  
69年6月3日 18時27分 1連 務着  
69年6月4日 01時34分 本省 務着

外務大臣殿 大和田大使 臨時代理大使 総領事 代理

アイチ外相訪米(ブラウダ論評)

第1642号 平

3日ブラウダの「オキナワのねだん」と題する論評(ピリ  
ューフ東京特派員)要旨次の通り。

1. 既に4分/世きも米国の占領下にあるオキナワ及び他  
のリニウキニウ諸島の返かん交渉のためアイチ外相はワシ  
ントンに到着した。目下オキナワ問題は日本の最もせんえ  
いな政治問題化している。昨年サトウ首相が3選された際  
彼はオキナワ問題の解決に自らの運命をかけることを余ぎ  
なくされた。

2. アイチ(当館ちゆう：以下けい称はついていない)は  
本件に対する自民党の一般的立場。即ち、安保条約のリニ  
ウキニウ諸島への拡張の条件の下でオキナワ返かんを獲得  
するとの立場を携えて米国に赴いた。右は返かん後もオキ  
ナワにおける米国の無制限な自由行動を認めるという数ヶ  
月前の自民党の当初の立場の変更であるが、現在自民党指  
導部は、返かんの際、核兵器の撤去の要を主張するにいた  
っている。この立場変更は何よりも与論へのおくり物であ  
るが、同時に他の面がある。即ち、先般スタンス訪日の際

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

、日本に対し経済面の門と開放を要求したが、日本側はこれを拒否した。日本の支配層は経済面の門と閉きをオキナワ交渉の際の日本側の立場強化に利用せんとしているのである。か様に日本関係は悪化し、アイチ訪米の間も日本側に種々の圧力がかかると思うが。ペンタゴンのタカ派はオキナワが米の利益にほろしする限り対日返かんを考へていない。

3、疑いもなく日本の支配層はオキナワ返かん問題を日米軍事同盟のわく内でおん便に処理したいと考えている。消そく筋は特に、日本の兵力増強とオキナワへの配置、ならびにアジア反動勢力援助計画への深入りの点で米側の要望に答える用意ありと述べている。更に日本の支配層の間では、米國が更に日本を圧迫するならば、極東における安全保障の見地からオキナワにおける米國の行動の自由を認める特定条約の締結も考えられる旨ささやかれている。

4、日本及びオキナワの民主勢力はアイチ訪米との関連で返かんの代償として余りにも大きな対価を払うのではないかと心配している。彼等は、オキナワ問題は米國の軍事同盟のわく内で解決すべきではなく、積極的中立に向う日本の平和的発展の立場から解決すべきことを要求している。

米に転電した。

(3)



アメリカ局長 参事官 北米第一課長  
秘密標記(赤色) 極秘

米作 白田 次一 防第 4863号  
昭和 46年 6月 28日  
外務大臣 殿

在 米場大使 防衛情報

- 首席事務官
- 総務
- 渉外調査
- 漁業
- 航空
- 外交協力
- 連絡調整
- 文書
- 庶務



(件名) 駐米ソ連海軍武官の復内について (防衛情報)

引用公・電信 日付・番号

当地駐在ソ連海軍武官補佐官

海軍大佐は、

ソ連海軍武官補佐官

海軍大佐と共に、幸館玉川

本信送付先: 本信写送付先: 省内写配布希望先:

防衛駐在官に対し、要旨次のとおり  
復内した趣のところ、ご報告申しあ  
げる。

1. 沖縄の返還に伴い、日本は台湾  
の防衛を引き受けたものと思うが  
その真偽はどうか。

(日本政府がたびたび発表している  
ようにその事実はない旨回答)

2. 台湾の防衛責任を負わないにして  
も領海の接近等により、台湾問題  
をめぐって中共との関係が微妙  
になってくると思うがどうか。

(日本の態度はあくまでも Defensive  
なものであるから、その重要な問題  
は起らないと思うとだけ回答)

3. 日本はペルシヤ湾周辺地域から  
必要原油量の90%を輸入し、日本  
までの sea line of Communication の  
安全確保に重大な関心を抱いて  
いる由であるが、日本海軍が增強  
されるに従って、その艦艇がマラッカ  
海峡以西の海域に行動するよう  
なるのではないか。

(日本政府はタンカー航路にあたる  
沿岸諸国と友好関係を維持する  
よう努めており、近い将来マラッカ  
海峡をこえて護衛艦艇を出す  
ような計画もなければ、またそれを  
必要とするような事態も起らないと  
思うと回答)

